

雫石地区の実践活動

平成29年度

実践活動2年目にあたる平成29年度、雫石地区では5つの実践・チーム活動が行われました。平成28年度の「情報発信」チームに変わって、新しく「空き家・空き店舗」チームが結成され、さらなる地域課題の解決に向かって歩みを進めました。

「トレジャーハンター・寻宝人（シュンパオレン）」※「雫石勝手に十景」よりチーム名変更

地域のお宝の発掘発見を目指す寻宝人チーム。行政区長さんから地域のお宝をヒアリングしたり、お宝を知っていそうな人物を紹介していただきました。来年度は発見したお宝をカレンダーとして発行する予定です。

「空き家・空き店舗」

空き家・空き店舗の活用や、雫石に住みたい人の住みやすい環境づくりを目指して今年度から誕生した「空き家・空き店舗」チーム。空き家のマッピングや、実際にまち歩きをして空き家を確認するなどの活動を行いました。今後は移住者などへの住まいのマッチングを行えたらと考えています。

「産直応援隊」

地域の産直農家さんを応援する“産直応援隊”チーム。産直マップが完成し各産直農家へ配布したり、産直マップをより活用してもらうために野菜をかたどった木製の看板を制作しました。雪灯りでは雫石産野菜を使ったスープカレー作りにも協力しました。

「雪灯り」チーム

2回目となる雪灯り。キャンドル教室やスープカレーの御振舞いなども行いました。また中心市街地の活性化も目指して、駅前やよしゃれ通り商店街にも雪灯りを設置しました。活動のない夏には、御明神夏祭りチームへのお手伝いをするなど地区を越えた活動を行いました。

「みんなに優しい道づくり」

生活交通の勉強会を御所地区御用聞きチームと合同で開催し、その後あねっこバスにみんなに乗ってみたいり、地域の足について勉強しました。また、まち歩きにより地域の安全点検や危険個所の確認を行い、マップへの落とし込みなども行いました。

